

富士山みがきあげ作戦 ～私たちの手でみがきあげよう富士山日本一の山～

ふじさんネットワークでは、「私たちの手でみがきあげよう富士山～日本一の山～」をテーマに、地元の企業、団体等様々な人の参画を得ながら、富士山5合目以下の道路沿いや公園等のごみの実態を「調べ」、どうすればごみをなくせるか「考える」ことにより、富士山を裾野からみがきあげ、日本一きれいな山を目指すという取り組みを平成14年11月から実施してきました。これまでの活動状況をご紹介します。

平成14年度参加団体 (50音順)

- ・イオン (株) ジャスコ富士宮店
- ・キリンディステリラー (株) 御殿場工場
- ・国立中央青年の家
- ・東海ゴム工業 (株) 富士裾野製作所
- ・東京電力 (株) 沼津支店
- ・天間製紙株式会社
- ・富士五十鈴株式会社



ごみの状況

- ・道路沿いの側溝、草むら、植樹帯など人目につかない場所にタバコの吸殻、空き缶などが多く捨てられている。
- ・車内から投げ捨てられたと思われる飲料水の缶、ペットボトル、タバコの空き箱などが多く見られた。

ごみの実態を調査してみた

- ・思っていたよりもごみは少なかったが、安易なごみのほい捨てが多いと感じた。
- ・歩道が整備されていない道路等では自動車の通行に注意しての活動が必要だった。
- ・積雪により実施予定日を変更した。活動時期としては春が秋が良いのでは。
- ・今後も引き続き活動をしていきたい。また、より多くの参加団体があればさらに良かった。

ごみを捨てさせない方法の提案

- ・ごみは目立たないところ、または既にごみが捨てられている所に捨てる (捨てられる) 傾向があるため、常に周辺の美化を進める。
(みがきあげ作戦活動の推進)
- ・それぞれの家庭での環境教育の取り組み。
- ・ごみを適正に処理する人へインセンティブの付与 (例: 空き回収箱を設置、回収すると10円返金される等)
- ・「富士山をみがきあげよう!」などでのマナー啓発看板の設置



環境教育支援団体紹介名簿完成! 小・中・高等学校の活用を!

ふじさんネットワーク環境教育部会が作業を進めていました、ふじさんネットワーク加盟団体による小、中、高等学校への環境教育支援団体を紹介する名簿が完成しました。この名簿を作成するまでの経緯を説明しますと、平成14年2月に実施した「富士山をテーマにした環境教育アンケート」の調査結果によります。この調査結果に基づいて、ふじさんネットワーク参加団体のみなさんに協力を呼びかけ、作成されたのがこの名簿です。講師の派遣、体験型プログラムの提供、教材の提供など各団体が提供できる内容が記載されています。近日中に関係学校へ配布される予定です。各学校において、おおいに利用されることによって、所期の目的が達成されることにつながります。

調査と名簿作成にあたった富士山ナショナル・トラスト事務局長の花田文夫さんは、「NPO団体、企業、団体連合会など各方面からの協力が得られたことが画期的だと思います。学校とこういった団体との良好な協力関係づくりに少しでも前進があればうれしいですね。費用の問題など解決しなければならないことはまだまだ残されていますが、これをきっかけにさらに充実をめざしたいと思います」と今後に向けての決意を語られました。

「富士山をテーマにした環境教育アンケート」の調査結果 (要約)

- ① 環境教育は、すでにその必要性ややるかやらないかの問題ではなく、その質 (内容や方法など) と量 (実施団体や参加者の数) の充実をどうはかるか、そのための体制作りが課題である。ふじさんネットワークはこの課題に対してどのような貢献ができるか。
- ② ふじさんネットワークに参加する団体は、環境教育を実施するための支援エネルギーを相当のレベルで持っている。
- ③ 学校側も体験型プログラムや講師の派遣といった支援を期待している。
- ④ 双方のつながりが不足しており、このつながり不足を補うための相談窓口やデータベースへの期待が強いというところがありました。

The 富士登山

快適 & 安全な登山のために。

- ヘッドライト (手持つ懐中電灯)
- リュックサック (縦長で肩に重量が集中しないウエストベルトがついたものがベスト。)
- その他の持ち物 (雨具、飲み水 (1ℓは欲しい) 携帯酸素、食糧、着替え、タオル、ゴミ袋、芯を抜いたトイレトーパー、携帯電話、日焼け止め、サングラス、マスクなど。)
- ズボン (半ズボンは転倒したときケガをします。膝が曲げやすい伸縮性のあるもの、ジーンズは堅いので疲れます。)
- 靴下 (厚手のものを。薄い木綿の靴下は靴擦れしやすいので。)
- 帽子 (つばのついたもの、強風でも飛ばない工夫を)
- 長袖シャツ (ケガ防止のため、胸ポケットがあると便利。下にTシャツを着ると猛暑の時身軽になります。) 夜間登山は防寒具が必要です。夜明け前の山頂付近は平均気温5℃、風も強いので、セーターやフリースなど保温性のある衣類の上にレインスーツ、スキーウェアなど風の遮られるものを。寒がりの方はホカロン、毛糸の帽子などが必要です。
- 軍手 (岩に手をつくため)
- 杖 (特に下山の時に便利)
- 靴 (トレッキングシューズ、キャラバンシューズなど靴底がしっかりした軽めのもの。 (ハイカットは、砂や小石が入りにくい。)) 重い登山靴は疲れます。

こんなことに注意!

- 落石
登山道を少しそれただけで、山道には足場の不安定な石がゴロゴロ。追い越しなどのためにロープをまたいで道を外れることは落石事故を招くこととなります。上からの落石に十分注意し、また、自分自身が落石の原因にならないように、歩行中は気を配りましょう。
- 高山病
富士登山でもっとも気をつけなければならないのが高山病です。急激な気圧の変化に体が対応できず、頭痛、吐き気、めまいなどをもちやすくなります (症状がひどくなると鼻血が出ることもあります)。登りはじめは、100メートル歩いたら少し足を止めるくらいのゆとりをもちましょう。子供連れや高齢の方は特に注意が必要です。少しでも体調がおかしいと思ったら、十分休憩すること。それでもよくならなければ、下山しましょう。無理は禁物です。

最優秀作品

1位 白鳥 恵美 (東京都)

富士山の恵みを将来にわたり享受できるよう、国内外に富士山憲章を周知し、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、啓発活動に使用する富士山ピンバッジデザインを募集したところ、全国45都道府県から843件の応募があり、1月の予備審査で20点選考。3月11日の最終審査で最優秀賞1点、優秀賞3点が決定しました。

優秀作品

2位 長谷山 芳生 (静岡県)

3位 鈴木 賢 (埼玉県)

4位 福山 成巳 (東京都)